

特定医療費受給者証所持者数の推移

特定医療・特定疾患医療受給者証所持者数（東京都）

		25年度	26年度(※注)	27年度
1	ベーチェット病	1,804	1,922	1,900
2	多発性硬化症	1,907	2,105	2,110
3	重症筋無力症	2,034	2,179	2,244
4	全身性エリテマトーデス	6,092	6,335	6,469
5	スモン	130	128	117
6	再生不良性貧血	793	856	867
7	サルコイドーシス	1,723	1,949	1,833
8	筋萎縮性側索硬化症	813	870	870
9	強皮症、皮膚筋炎及び 多発性筋炎	4,352	4,679	2,014 *
10	特発性血小板減少性紫 斑病	2,025	2,258	2,195
11	結節性動脈周囲炎	1,008	1,137	1,150
12	潰瘍性大腸炎	15,662	17,558	17,081
13	大動脈炎症候群	558	583	566
14	ピュルガー病	438	451	434
15	天疱瘡	476	528	534
16	脊髄小脳変性症	2,260	2,399	2,311
17	クローン病	3,517	3,789	3,869
18	難治性の肝炎のうちの 劇症肝炎	14	13	9
19	悪性関節リウマチ	551	590	555
20	パーキンソン病関連疾患 (進行性核上性麻痺、大 脳皮質基底核変性症、 パーキンソン病)	11,783	12,680	12,571
21	アミロイドーシス	166	192	201
22	後縦靭帯骨化症	2,359	2,724	2,741
23	ハンチントン病	80	85	85
24	モヤモヤ病(ウイルス動脈 輪閉塞症)	1,249	1,397	1,376
25	ウェゲナー肉芽腫症	221	255	282

26	特発性拡張型(うっ血型) 心筋症	1,702	1,871	1,856
27	多系統萎縮症(線条体黒 質変性症、オリーブ橋小 脳萎縮症シャイ・ドレーガ ー症候群)	996	1,049	968
28	表皮水疱症(接合部型及 び栄養障害型)	29	33	26
29	膿疱性乾癬	150	159	164
30	広範脊柱管狭窄症	432	478	478
31	原発性胆汁性肝硬変	2,036	2,150	2,165
32	重症急性膵炎	140	69	7
33	特発性大腿骨頭壊死症	961	1,151	1,095
34	混合性結合組織病	920	963	946
35	原発性免疫不全症候群	203	219	224
36	特発性間質性肺炎	648	784	815
37	網膜色素変性症	2,471	2,636	2,452
38	プリオン病	46	44	43
39	肺動脈性肺高血圧症	210	225	241
40	神経線維腫症	371	400	409
41	亜急性硬化性全脳炎	3	3	4
42	バッド・キアリ(Budd- Chiari)症候群	20	26	26
43	慢性血栓塞栓性肺高血 圧症	217	254	285
44	ライソゾーム病(ファブリ ー[Fabry]病含む。)	100	114	118
45	副腎白質ジストロフィー	27	27	29
46	家族性高コレステロール 血症(ホモ接合体)	7	7	10
47	脊髄性筋萎縮症	101	106	97
48	球脊髄性筋萎縮症	108	119	127
49	慢性炎症性脱髄性多発 神経炎	520	569	536
50	肥大型心筋症	343	415	448
51	拘束型心筋症	5	4	4
52	ミトコンドリア病	147	164	166

*

53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	84	94	99
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)	5	4	8
55	黄色靱帯骨化症	145	241	349
56	間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	1,642	1,969	2,016

※注

1)難病の患者に対する医療等に関する法律の施行(平成27年1月1日)により、2)の3疾患を除く疾患については特定疾患治療研究事業の対象外となったため、平成26年末現在の数を集計している。

2)「スモン」「難治性の肝炎のうちの劇症肝炎」「重症急性膵炎」については、平成26年度末現在の数字を集計している。